

第 115 回紫友まち歩き

船遊び・・・東京湾の夜景巡り

夏の宵を屋形船で涼む趣向で、歩かないまち歩きです。東京の勝どき駅そばの乗船所から船に乗り込みました。お台場、レインボーブリッジと品川沖の夜景を楽しみます。案内人と案内人補佐は、15 名以上の参加を目標にメール等で情報交換をし、19 名での開催になりました。クーラーも効いて涼しい中、少しの揺れはありましたがおいしい食事を楽しみました。当日は曇りの中、船は出ましたが、後半のお台場周遊頃から小雨が降ってきました。

日時：2026 年 8 月 21 日(金)

集合時間：集合 17:45 まで（乗船の都合で厳守）

集合場所：晴海乗船場（朝潮小型船乗り場）

参加者：19 名

案内人：横山 018E、補佐柴田 017D

懇親会：屋形船晴海屋船中にて振り袖御膳で懇親

懇親会参加者：19 名

歩いた歩数：今回省略

<まち歩き>：

■まち歩き（乗船コース）行程

勝鬨・晴海乗船場(18:00 発)→レインボーブリッジ→お台場・臨海副都心→東京湾沿岸（品川沖）→お台場周辺周遊<2 時間半コース、船中で懇親>→勝鬨で下船解散(20:30 頃)

（下図まち歩き（船）ルート参考）



<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。なお、夕方の写真ですので、写りが良くないです。お許しを。

① 勝鬨・晴海乗船場(18:00)：

乗船場には 2 匹の梟が飾られていた。何かの縁起担ぎだろう。



柴田に指名された二人が、食事込み料金 13,400 円集金。時間になり出発。柴田の乾杯に続き、船（まち歩き）ルートについて説明後、懇親開始。

② レインボーブリッジ：

レインボーブリッジが見えてきたが、見慣れているのか、あまり感動しないようだ。通り過ぎていく。



③ お台場・臨海副都心

お台場のフジテレビの球体に続き、日航ホテルが見える。



高い煙突がある。これは東京港清掃工場で、煙突は約 120m だ。



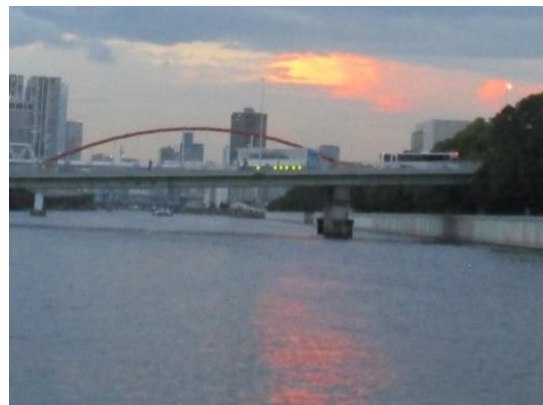
アルコールも入ってきたのか、あちこちで会話が弾んでいる。報告者は、談話中の写真を撮る。



刺身の舟盛りに、揚げたてのフライを楽しむ。



まだ明るいが、夕焼けが後方に見える。



④ 東京湾沿岸（品川沖）：

右手に新幹線、首都高速道路、モノレールが見えるので、係の女性に聞くと品川近辺だという。

懇親は深まっている。



夕方の照明が入り、複数の赤白クレーンが名前の通り、鶴が頭を上下しているように見える。ここは大井コンテナターミナルだ。



少し先に斜めにカットされた箱型の建築物が見える。何だろうと質問され、換気の建物だろうと説明した。調べる

と首都高速湾岸線（B）のお台場出口（正式名：13号地側換気所）でした。



この辺が今回の船遊びで最も東京湾近くに行ったところのようだ。

⑤ お台場周辺周遊：

そこからは同じ船道を逆に進み、お台場前まで戻ってきた。流されないようにうまく船を操作してくれる。照明中のシンボルプロムナード噴水（有明噴水）がよく見える。



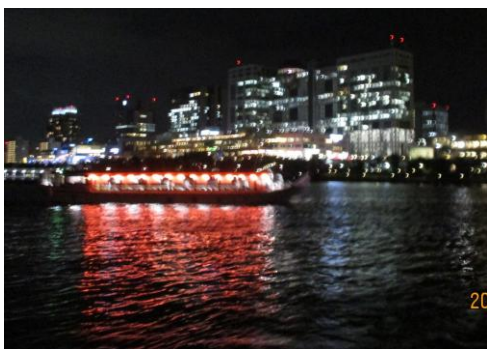
柴田まち歩き世話人から、今後のまち歩き予定の紹介があり、それぞれの案内人が内容説明（敬称略）。

- ・小石川高一周・残り半周：東大正門から本郷を巡る（案内人倉林 015）
- ・大山商店街と忘年会（案内人太田 025 と小林（俊） 016）
- ・海外版 台湾（案内人蠟山 017）

なお、海外版では特に女性から期間が長いので、途中で分かれ、帰国するルートも欲しいとの要望がありました。



時間にもなってきたので、船は勝ちどきに
 戻り始める。
 少し前から雨が窓を打ってきていた。



我々の舟もこんな感じだろう。

⑥ 勝鬨で下船解散(20:30 頃) :

雨が降っているなので、各自傘を差しな
 がら、タクシーなどで帰路に向かう。
 報告者はここで少し反対側に向かっ
 て折り返してきたが、すでに誰もいな
 いので帰路につきました。

以下の QR コードから紫友まち歩きの
 報告書に行けます。本報告書も後ほど



アップ予定です。

以上

2026 年も楽しくまち歩きをしましょう。
 集合写真：荻原さん撮影（本人映って
 いない）

